2026部落の心を伝えたいシリーズ　最新作完成

部落の心を伝えたい シリーズ

番外編



社会学者の江嶋修作さん (85) は半世紀に亘り同和教育に関わり続けた。きっかけは 1963 年に起きた狭山事件だった。上申書申請で各地の被差別部落を調査、差別の現実に怒りを覚えた。1985 年新しい視点を提唱する“社会「同和」教育変革期”出版。米ハーバード大留学で得た最新の社会学の知見、大胆な発想と熱量で、教育界に大きな影響を与え続けた。

2018 年人権テイクルートの創設に参加、全国各地で人権の根を張るメンバーたちと新しい活動を展開している。

2026 年シンポジウム「江嶋修作 遺言に代えて」が開かれた。次世代に託す江嶋さん独自の提言を学ぼうと全国からメンバーが参加。「同和教育　残したいもの二つ　残したくないもの二つ」を明示した。「差別には理由、根拠がないこと」「いま、ここのリアリティに向きあうこと」そして「同和教育を人権教育に埋没させないこと」など・・・。

本作では厳しい結婚差別とも対峙した江嶋さんならではの体験も交え、上下巻に分け、たっぷりとわかりやすく伝える。

2026年 9月完成／上巻 27分･下巻 26分
ライブラリー価格　上巻･下巻　各巻 50,000円+税

番外編



社会学者・内田龍史（りゅうし）教授 (50) の講義のテーマは「差別と社会」。内田さんは大学の授業で初めて知った部落差別に大きな衝撃を受け、部落問題を研究するきっかけとなった。学生たちの目線に寄り添った講義を心がけ、被差別部落へのフィールドワークにもつなげている。先入観や偏見を排し、出会い･学び･体験を通して現実を知る重要性を大切にする姿勢は著書『部落問題と向きあう若者たち』にも生かされている。顔も名前も出して部落問題に携わる若者たちへの聞き取りはライフワークとして継続している。講演は全国各地に及ぶ。スライドを使った丁寧な解説は、教育関係や行政関係、一般市民にも評判だ。

不安が差別を生む心理的メカニズム、同和教育が人権教育に埋没した歴史的背景、ネット差別とアテンション・エコノミー、寝た子を起こすな論、部落責任論、部落分散論、さらには悪意のある差別と悪意のない差別、多彩な切り口から部落差別解消への道を提示する。そして「気づき」がその第一歩になることを本作は明確に伝えている。

2026年 9月完成／29分／ライブラリー価格 50,000円+税

オンライン研修も好評実施中!



- ○ 多彩な作品群の中から選定できます（全作品対象）
- ○ 高画質のVimeo(ビメオ)で配信します
- ○ 小規模グループから大規模研修まで対応します
- ○ 同時視聴も日時を分けての視聴も選択可能です
- ○ 実施期間に添った研修プランをご提案します
- ○ お申込みから研修終了まで丁寧にサポートします

実施された方々のコメント

上場企業A社（1ヶ所30名規模で日時を分けて10ヶ所で視聴）
「各部署に合わせた視聴時間を設定、誰も取り残さない研修ができた。」

行政B市（100名規模で同時視聴）
「全員で視聴したので共に考えようという意思統一が生まれたように思う。」

NPO法人C（40名規模で同時視聴）
「映像の効果は大きいと改めて感じた。」



まずはメールなどでお気軽にお問合せを。

部落の心を伝えたい シリーズ

Since1998



その他作品はWEBご参照

部落の心を伝えたい 番外編



LGBTシリーズ



※【部落の心を伝えたいシリーズ】第1巻～第10巻／DVD(字幕無し)　第11巻～第35巻【番外編】【LGBTシリーズ】／DVD(字幕 有/無 選択可)

●お申し込みは…

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

〒761-0113　香川県高松市屋島西町 2484-8

TEL 087-841-1100　FAX 087-841-1101

https://www.optical.jp　E-mail：info@optical.jp